

認定 NPO 法人 アルペなんみんセンター 2025 年度 事業報告書

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

はじめに

世界はますます混迷を深めています。ウクライナ、ミャンマー、スーダン、コンゴ民主共和国、中東などでの武力紛争の長期化・泥沼化に加え、各地で新たな武力衝突が勃発しています。加えて世界的な気候変動による食糧・水不足が深刻化するなど、複合的な要因によって、かつてないほどの治安悪化と人道危機に世界全体が直面しています。こうした中、故郷を追われ、強制移動を強いられた難民、国内避難民の数は、過去最高を更新し続け、2025 年半ばには 1.2 億人を超えました。その一方で、2025 年には米国国際開発庁（USAID）の解体を筆頭に、国連や先進諸国による対外援助の削減によって、国際社会による支援が大幅に減り、紛争や貧困の影響下にある国・地域では、深刻な資金不足や経済破綻、社会的な分断などのしわ寄せが市民の生活に暗い影を落としています。

日本における難民認定申請は 3 年連続で 1 万人を超え、2025 年は 1 万 1,298 人となりました。難民認定数は 187 人（前年比 3 人減）と 4 年連続で 100 人を超えたものの、厳格な審査基準が保たれ、難民として認定を受けるべき人が認定されない状況が依然として続いています。認定率は他の先進諸国と比べても際立って低い状況です。ウクライナ避難民の受け入れを契機に 2023 年末に導入された「補完的保護」認定制度が本格的に運用され、ウクライナなどの紛争地域からの避難民への柔軟な保護措置が定着した一方で、2024 年以降に厳格化された「3 回目以降の難民申請者に対する送還停止一部解除」の運用が本格化し、「送還・管理の厳格化」がさらに顕著となりました。難民申請中に送還された人の数も 59 人に上ります。

2025 年度、アルペなんみんセンターでは 27 名の方々にシェルターと定住支援を提供しました。このうち新規入居者の受け入れは 9 名（再入居者を除くと実数 8 名）に留まり過去最少となりました。出口の見つからない入居者の滞在の長期化が、新規受入数の低下に影響しています。また設立 5 周年を迎えた 2025 年度の特記事項として、築 60 年を迎えた施設の一部改修工事の実施や、世界難民の日（6 月 20 日）をはさんで 2 週間にわたるなんみんウィークの実施、アウトリーチ活動やミャンマー支援に乗り出すなど、新しいことにも取り組みました。

厳しさを増す難民・避難民を取り巻く現実を前に、難民とならざるを得ない方々の命と尊厳をどう守っていくか、多くの支援者に支えていただきながら、今後も模索を続けていきます。

I 難民への定住支援事業

(1) 緊急シェルターの提供

2025 年度 実人数 27 人 新規入居者数 9 人（延べ人数*）（過去最少）

延滞在日数 15,228 日 平均滞在日数 564 日（過去最長更新）

* 新規入居者には退去後に再入居した 1 名を含む

（参考）2024 年度 実人数 30 人 新規入居者 11 人

延滞在日数 13,560 日 平均滞在日数 452 日

- ・ 長期入居者（仮放免）の出口探し難航（2021 年入所、2023 年入所各 1 名）
- ・ 施設老朽化対策としてシャワー・給湯施設・配管改修工事実施（2025 年 4 月～7 月、約 2,000 万円）

(2) 医療の提供

- ・ 地域の開業医の訪問継続（毎週月曜日）
- ・ ボランティア整体師による施術導入（月 2 回程度）
- ・ 無料低額診療、自立支援医療の活用
- ・ 男性 1 名緊急入院・心臓手術（約 80 万円）
- ・ メンタルケアが必要な入居者増加（2 名投薬治療中、1 名カウンセリング、2 名受診検討中）

(3) 日本語支援

- ・ 地域の日本語教室との連携（鎌倉えんぴつの会、毎週土曜日）
- ・ NPO 法人青少年自立援助センターYSC グローバル・スクールによるオンライン授業
- ・ 日本語検定受験支援（5 級 2 名合格）

(4) ドイツ人学生インターン（2 名、半年間）の受け入れ

- ・ シェルター内のイベント企画によるコミュニケーションの活性化（茶道体験会、ハロウィン・クリスマス等季節行事、ダンス・クイズ大会、ボードゲーム、クッキング、遠足等）
- ・ 地域イベントやボランティア活動への参加

(5) アルペファーム（農作業） 毎週土曜日

- ・ 地域のボランティアが毎回多数参加、遠方からの参加、学生の参加も増加
- ・ コットン栽培開始。収穫したコットンの活用を検討中。

(6) 地域のイベント等への参加、開催

4 月 ボランティア感謝会

スモールクワイア・チャリティーコンサート

主催：カトリック由比ガ浜教会福祉委員会

- 5月 第57回 慈善茶会@高德院 主催：公益社団法人鎌倉青年会議所
みんなで鎌倉平和パレード
第26回鎌人いち場
ホースセラピー
- 6月 第7回ラーメンを食べて難民支援！ 主催：日本の食を難民の心に届ける会
十二所自治会掃除&BBQ 参加
- 7月 ホームカミング BBQ
- 8月 ホースセラピー
- 9月 十二所神社祭り
- 10月 ベビーケアボランティア感謝会（双子1歳誕生日会）
- 11月 第8回ラーメンを食べて難民支援！ 主催：日本の食を難民の心に届ける会
ホースセラピー
- 12月 クリスマスパーティ
- 2月 半日遠足
- 3月 ホースセラピー

（7） 近隣の居場所プログラムへの参加

- ・毎月第1土曜日 地域食堂ゆきのした
- ・毎月第3金曜日 ふらっとカフェ鎌倉 in 二階堂

（8） ウクライナ避難民支援

- ・かながわ民際協力基金を活用して相談支援・交流事業実施（2025年9月終了）
- ・神奈川県、公益財団法人かながわ交流財団との連携協定（2023年5月～）
- ・ウクライナ写真展 2025年8月22日～9月19日 人権ライブラリー企画展

（9） 転居者のフォローアップ

- ・ 支援実績：4世帯10人
- ・ 転居にかかる行政手続き、就労支援、転居先の支援団体・支援者への引継ぎ、教育機関・医療機関等への橋渡しなど
- ・ 教会等との連携による自立ケース2世帯
- ・ 難民認定申請不認定・裁判敗訴、在留特別許可不認定となった元入居者1名が仮放免延長時に收容され、翌日強制送還。

（10） 定住支援アウトリーチ活動の試行

- ・ 支援実績：2世帯6人（神奈川県および茨城県在住の難民申請者）
- ・ うち1件は行政からの支援要請による妊娠からの各種手続き、医療を含む生活支援
- ・ 地域のボランティアや支援団体と連携して支援体制を構築
- ・ 「移住者と連帯する全国ネットワーク」が実施する『『新移民時代型』支援ネットワーク構築事業』緊急支援金、難民移住移動者委員会援助金を活用した生活支援を試行。2026年度は支援費を予算化予定。

- ・ アウトリーチ活動は、かながわ民際協力基金の助成を受け、難民・避難民に対する定住支援、共生社会の実現に向けた理解促進・啓発活動の一環で実施。

Ⅱ 情報発信事業

(1) 国際理解教育事業（オープンデー、なんみんセミナー）

- ・ オープンデー 10 回開催 85 名
- ・ なんみんセミナー 59 回開催 2334 人

以下のとおり医療関係者を対象や人権に焦点を当てた研修等を多く受け入れた。

- ◇ 民医連職員研修受け入れ (9 月 24 日)
- ◇ 医療通訳養成研修（オンライン） (10 月 4 日)
- ◇ 日本聖公会横浜管区人権セミナー (10 月 8 日)
- ◇ 神奈川県民医連メディカルソーシャルワーカー受け入れ (10 月 18 日)
- ◇ 国際人権と多文化共生社会講演 (11 月 22 日)
- ◇ 鎌倉市人権擁護委員視察受け入れ (1 月 29 日)
- ◇ 東京民医連医学生受け入れ (2 月 24 日)
- ◇ 国際医学生連盟日本（IFMSA-Japan）学生受け入れ (3 月 16 日)

(2) ニュースレター、ホームページ、SNS 等での情報発信

- ・ ニュースレター「アルペ通信」（支援者、教会、修道会）
 - 8 月 第 10 号（12,500 部） 3,171 カ所に送付
 - 12 月 第 11 号（18,000 部） 3,700 カ所に送付

- ・ アルペだより（寄付者向け） 4 月 No15 8 月 No16 12 月 No17

(3) アルペ 5 周年企画 世界難民の日 2025 なんみんウィーク in 鎌倉

実施期間：2025 年 6 月 15 日～6 月 29 日

延べ参加人数：約 500 名（スタッフ、難民当事者含む）

- ① 鎌倉なんみん映画祭：6/18（水）～6/22（日）に鎌倉市川喜多映画記念館と共催。日本の難民問題を浮き彫りにした「イマジナリーライン」他、難民関係の 4 作品を上映。当初 10 回上映予定が機材トラブルのため 6/20（水）は上映中止となり、計 8 回 211 名が鑑賞。
- ② 多文化共生セミナー「身近に暮らす難民の人たちの姿」：6/15（日）オンラインでのアルペなんみんセンターの取り組みの紹介に約 150 名が参加。

- ③ なんみんワークショップ：6/20（金）に鎌倉婦人子供会館において、高校生から 90 代の参加者 26 人が「生き延びるために祖国を後にする」、「難民として日本で暮らす」とはどういうことかロールプレイを通じて味わった。
- ④ なんみんパフォーマンス&ミャンマー応援ライブ：6/28（土）にカトリック雪ノ下教会で実施。小学生～90 代まで 85 人が鎌倉他、東京から参加。難民当事者のメッセージを聞き、一緒に踊って歌い、多文化共生の豊かさを体験しながら、ともに戦闘の続くミャンマーはじめ難民の出身地の平和を願った。
- ⑤ なんみんクイズ・スタンプラリー：6/15（日）～6/29（日）、約 30 名が市内の店舗・イベントスペース 7 か所での難民クイズに参加。3 問正解者にはオリジナルクリアファイルをプレゼントし、協力店舗にも好評だった。
- ⑥ ウクライナ写真展：6/23（月）～6/28（土）にカトリック雪ノ下教会に展示。自由閲覧のため来場者数不明。

（４） アルペなんみんセンターの紹介動画（英語版）

Jesuit Conference of Aisa Pacific（イエズス会アジア太平洋協議会、略称 JCAP）の広報スタッフにより 17 分の動画が制作・公開された。

<https://www.youtube.com/watch?v=cW-jA7v2ADg>

（５） 映画「イマジナリーライン」（エンドロールにアルペなんみんセンターが掲載）

東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻 18 期の卒業制作作品として制作された坂本憲翔監督の長編デビュー作。

2024 年製作／90 分／日本 配給：Lamp. 劇場公開日：2026 年 1 月 17 日

<https://www.lamp-kk.com/imaginary-line/>

（６） メディア掲載

タウンニュース鎌倉版 2025 年 5 月 23 日 鎌倉 人物風土記

「国内最大級の難民シェルター「アルペなんみんセンター」の事務局長を務める有川 憲治さん」 <https://www.townnews.co.jp/0602/2025/05/23/786191.html>

毎日新聞 神奈川版 2025 年 6 月 29 日 かながわ多才多彩・この人に聞く

「国の人権状況変えたい アルペなんみんセンター事務局長 有川憲治さん（63）」

<https://mainichi.jp/articles/20250629/ddl/k14/040/022000c>

NHK こころの時代～宗教・人生～ Eテレ 2026 年 3 月 29 日初回放送

“他者のために” アルペ神父と広島

<https://www.web.nhk.tv/pl/series-tep-X83KJR6973/ep/N38R838J8P>

Ⅲ 調査・研究事業

(1) 鎌倉なんみん共生フォーラム

- ・ 世界難民の日 2025 なんみんウィーク in 鎌倉を共催
- ・ 運営委員会 2026 年 1 月 31 日（土）

アルペなんみんセンターにて、運営委員 6 名により今後の活動方針を議論

(2) 国内外の難民支援団体とのネットワーク

① NPO 法人 移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）

『『新移民時代型』支援ネットワーク構築事業』（前掲）に伴走者として職員が参加し、緊急支援金を活用して定住支援を行った他、日本における難民を取り巻く諸課題についての議論に加わり、関係団体と連携して支援体制の拡充に努めた。

② NPO 法人なんみんフォーラム

国内の難民支援ネットワーク団体「なんみんフォーラム」に参加し、日本における難民の諸問題に関する情報収集および関係団体との連携強化に努めた。また、法務省、日本弁護士連合会、なんみんフォーラムが 2012 年から実施している「日本の空港において難民としての庇護を求めた者に係る住居の確保等に関する事業」に継続して参画し、受け皿としてシェルターを提供している。2025 年度は収容代替措置（ATD）が認められた者 1 名を受け入れた。

③ Jesuit Conference of Asia Pacific（イエズス会アジア太平洋協議会、略称 JCAP）Migrants and Refugees Network への参加

定期的に関催されるオンライン会議に参加し、また年 1 回の対面会合（2026 年 3 月 3 日～6 日、東ティモール）にスタッフ 2 名を派遣した。対面会合では「東ティモールにおける移民と気候変動による移住の現状」をテーマに、アジア地域で難民移民支援に携わる 11 カ国の代表者たちとともに各団体の活動状況等、情報・意見交換を行った。またオーストラリアでの季節労働を経て、東ティモールで起業した季節移民の経験談や、気候変動下で持続可能な営みを目指す現地のリソースパーソンのお話からも多くの示唆を得た。

(3) ミャンマー難民・国内避難民についてのキャンペーン実施

2021 年 2 月のミャンマー国軍によるクーデター以来、360 万人以上の国内避難民が発生し、1600 万人以上が人道支援を必要とし、また 120 万人以上が隣国へ逃れ、難民として避難生活を送っている（UNHCR、2024 年 4 月）。長期化する人道危機を受け、JCAP Migrants and Refugees Network でミャンマー支援を協働で行うことが決まり、アルペなんみんセンターでも支援の可能性を検討するため 2024 年、2025 年にミャンマー国境のタイ・ターク県メーソットで現状調査を行った。2025 年 1 月以降は、USAID（アメリカ合衆国国際開発庁）の活動停止により現地の人道団体への資金も凍結され、ミャンマー国内避難民・難民は一層危機的な状況に陥っていることが判明した

ことから、緊急支援キャンペーン「ミャンマーの人々の希望をつなぎたい」を 2026 年 2 月 5 日から 2026 年 6 月 30 日までの実施を決めた。集まった寄付金は、JRS Myanmar（イエズス会難民サービス ミャンマー）、YPD Karen（Young People for Development カレン）、メーソットにある移民学校 2～3 校をつうじて、インフラ整備、教育、人道支援に充てる予定である。

IV 特記事項

2026 年 2 月 5 日に神奈川県より「認定 NPO 法人」として認定された。これにより、同日以降の寄付は寄付金控除（税制優遇）の対象となる。

2025年度 活動計算書

2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで

NPO法人アルペなんみんセンター

(単位:円)

科目名	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	200,000	
賛助会員受取会費	145,000	345,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	42,927,429	
切手等受贈益	96,667	
施設等受入評価益	6,000,000	
ボランティア受入評価益	4,907,963	53,932,059
3 受取助成金等		
受取助成金	1,000,000	1,000,000
4 その他収益		
受取利息	50,412	
雑収益	1	50,413
経常収益計		55,327,472
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	9,594,496	
法定福利費	1,192,289	
福利厚生費	20,682	
ボランティア評価費用	4,907,963	
人件費計	15,715,430	
(2) その他経費		
支援費	6,249,570	
謝金	919,527	
印刷製本費	581,405	
会議費	15,086	
旅費交通費	719,386	
通信運搬費	1,010,752	
消耗品費	2,017,482	
新聞図書費	17,700	
業務委託費	2,351,360	
広告宣伝費	359,700	
賃借料	113,690	
保険料	223,520	
水道光熱費	3,506,127	
減価償却費	261,252	
施設維持管理費	21,437,074	
支払手数料	97,752	
施設等評価費用	5,400,000	
大規模修繕引当金繰入額	3,000,000	
その他経費計	48,281,383	
事業費計		63,996,813

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	5,471,627		
法定福利費	670,046		
福利厚生費	9,545		
人件費計	6,151,218		
(2) その他経費			
印刷製本費	10,560		
旅費交通費	314,276		
通信運搬費	212,721		
消耗品費	39,975		
業務委託費	1,657,612		
賃借料	158,400		
保険料	277,440		
減価償却費	32,067		
諸会費	24,500		
支払手数料	567,011		
施設等受入評価費用	600,000		
その他経費計	3,894,562		
管理費計		10,045,780	
経常費用計			74,042,593
当期経常増減額			△ 18,715,121
Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1. 固定資産除却損	0	0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△ 18,715,121
前期繰越正味財産額			46,933,871
次期繰越正味財産額			28,218,750

2025年度 貸借対照表

2026年3月31日現在

NPO法人アルペなんみんセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	35,550,029		
貯蔵品	510,548		
未収入金	407,784		
預け金	133,203		
流動資産合計		36,601,564	
2 固定資産			
工具器具備品	562,087		
固定資産合計		562,087	
資産合計			37,163,651
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,944,901		
流動負債合計		2,944,901	
2 固定負債			
大規模修繕引当金	6,000,000		
固定負債合計		6,000,000	
負債合計			8,944,901
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		46,933,871	
当期正味財産増減額		△ 18,715,121	
正味財産合計			28,218,750
負債及び正味財産合計			37,163,651

2025年度 計算書類の注記

NPO法人アルペなんみんセンター

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
- (1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産は、定率法で償却をしています。
- (2) 引当金の計上基準
施設の大規模修繕に備え、「大規模修繕引当金」を計上しています。
当該引当金は、将来の修繕計画を見据え、財政状況等を勘案し、計画的に繰り入れています。
- (3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。
また、計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (4) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。
また、計上額の算定方法は「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」に記載しています。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科 目	定住支援 事業	情報発信 事業	調査研究 事業	合計	
(1)人件費					
給料手当	8,600,656	993,840	0	9,594,496	
法定福利費	1,189,287	3,002	0	1,192,289	
福利厚生費	20,682	0	0	20,682	
ボランティア評価費用	4,907,963	0	0	4,907,963	
人件費計	14,718,588	996,842	0	15,715,430	
(2)その他経費					
支援費	6,249,570	0	0	6,249,570	支援費 内訳
謝金	836,000	83,527	0	919,527	費目 金額
印刷製本費	0	576,225	5,180	581,405	生活支援費 1,392,423
会議費	0	15,086	0	15,086	食材費 2,753,814
旅費交通費	241,099	17,302	460,985	719,386	医療費 1,150,562
通信運搬費	93,628	913,208	3,916	1,010,752	旅費交通費 187,470
消耗品費	1,838,069	176,117	3,296	2,017,482	通信費 57,804
新聞図書費	0	17,700	0	17,700	教育費 61,443
業務委託費	396,000	1,955,360	0	2,351,360	その他 646,054
広告宣伝費	0	359,700	0	359,700	合計 6,249,570
賃借料	54,010	59,680	0	113,690	
保険料	223,520	0	0	223,520	
水道光熱費	3,465,317	40,810	0	3,506,127	
減価償却費	249,277	11,975	0	261,252	
施設維持管理費	21,437,074	0	0	21,437,074	施設維持管理費 内訳
支払手数料	31,504	38,478	27,770	97,752	費目 金額
施設等評価費用	5,400,000	0	0	5,400,000	設備修繕費 20,166,000
大規模修繕引当金繰入額	3,000,000	0	0	3,000,000	保守点検費 696,672
その他経費計	43,515,068	4,265,168	501,147	48,281,383	環境整備費 395,777
経常費用計	58,233,656	5,262,010	501,147	63,996,813	廃棄物処理費 178,625
					合計 21,437,074

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
イエズス会 日本殉教者修道院	6,000,000	50万円×12月換算
計	6,000,000	

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
定住支援事業 1,309個人・団体、延べ4,006.5時間	4,907,963	単価は神奈川県 lowest賃金(1,225円)によって算定しています。
計	4,907,963	

5. 使途等が制約された寄付・助成金等の内訳

使途等が制約された寄付・助成金等は以下の通りです。

当法人の正味財産は28,218,750円ですが、そのうち1,802,050円は、つぎのように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は26,416,700円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
助成金					
かながわ民際協力基金(ウクライナ支援)	70,073	500,000	570,073	0	かながわ民際協力基金(共生社会実現・25/10/1～26/9/30)決定額は1,000,000円
かながわ民際協力基金(共生社会実現)	0	500,000	287,925	212,075	
合 計	70,073	1,000,000	857,998	212,075	
寄附金					
末日聖徒イエス・キリスト教会(食材支援)	0	2,000,000	2,000,000	0	シェルター内食材費指定寄付
ミャンマーの人々の希望をつなぐキャンペーン	0	1,835,000	32,950	1,802,050	緊急支援キャンペーン指定寄付
合 計	0	3,835,000	2,032,950	1,802,050	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	727,006	128,400	0	855,406	△ 293,319	562,087
合 計	727,006	128,400	0	855,406	△ 293,319	562,087

7. 引当金の増減内訳

引当金の増減内訳増減は以下の通りです。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
引当金					
大規模修繕引当金	3,000,000	3,000,000	0	6,000,000	
合 計	3,000,000	3,000,000	0	6,000,000	

8. 施設維持管理費について

当期は、1階から3階居室のシャワー室及び給湯器の更新を行いました。

9. 借入金の増減内訳

借入金はありません。

10. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

11. その他

中小企業退職金共済について

職員の福利厚生充実及び退職金準備のため中小企業退職金共済(中退共)に加入しています。

当期における掛金支払額は444,640円であり、保険料として費用処理しています。

なお、共済契約に基づく積立額は、中退共により管理され該当職員に直接支給されるため、当法人の貸借対照表には計上されていません。

2025年度 財産目録

2026年3月31日現在

NPO法人アルペなんみんセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
手元現金	184,259		
預金			
PayPay銀行（普通預金）			
ビジネス営業部（鎌倉）	4,211,706		
ビジネス営業部（寄付口）	3,438,445		
ビジネス営業部（設備整備口）	0		
ゆうちょ銀行			
通常貯金	5,302,203		
郵便振替口座	1,158,097		
PayPay銀行（定期預金）			
ビジネス営業部（設備整備口）	6,000,000		
ビジネス営業部（寄付口）	15,027,524		
三菱UFJ銀行			
鎌倉支店	227,795		
貯蔵品			
切手	510,548		
未収入金			
クレジット寄付金、源泉所得税過納付分	407,784		
預け金			
電話料金（NTTテレホンカード）	133,203		
流動資産合計		36,601,564	
2 固定資産			
有形固定資産			
工具器具備品			
パソコン6台	45,403		
液晶テレビ	11,976		
ポリッシャー	65,917		
冷蔵庫	45,685		
ガスコンベクション	296,773		
事務局用エアコン	96,333		
固定資産合計		562,087	
資産合計			37,163,651
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
3月分給与/謝金/社会保険料等	676,298		
3月分業者支払	2,268,603		
流動負債合計		2,944,901	
2 固定負債			
大規模修繕引当金	6,000,000		
固定負債合計		6,000,000	
負債合計			8,944,901
正味財産			28,218,750

監 査 報 告 書

2026年5月13日

NPO法人アルペなんみんセンター
理事長 榎川 勝也 様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、NPO法人アルペなんみんセンターの2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、重要な決裁書類等を閲覧し、必要と認める場合には質問を行った。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2025年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、同法人の2026年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

監事

榎川 勝也